



お知らせ

9月26日（土）のイベント

安蔵山は、三方ヶ岳に変更します。

安蔵山の下見に行きましたが、菅並で通行止めの看板あり、電話で確認するも自己責任でもダメとのこと。急遽、余呉トレイルの地図で変更コースを調べ、三方ヶ岳の下見をしました。登山口の新道野峠に行きましたが、ここだと思い地図で確認しましたが、私有地につき無断通行禁止の看板あり。ここのはずだがなあ・・・。登山口が私有地で無断通行禁止の看板があがっているのは・・・。近くの御蕎麦屋さんに行き確認しましたところ、御蕎麦屋さんの土地で、「この頃黙って車を止め、登っていく者が多い・・・このように聞いてくだされば・・・」とおっしゃっていました。親切に詳しく道路状況など説明してくださいました。少し林道を歩き山道に入りました。道標はありません。黄色のテープが少しあるだけで、山頂もここのはずだが看板もありません。よく見ると木の幹に三方ヶ岳と小さく墨字で書いてありました。倒木が多くあちこち整備しながら、道標の赤テープをつけながら、コースタイムを計ったりと準備しました。帰りに御蕎麦屋さんに寄り、お蕎麦を食べてから帰りました。里山の味わいある山で、今までと違う趣ある山です。みなさまのご参加をお待ちしています。（2枚）

◆歴史



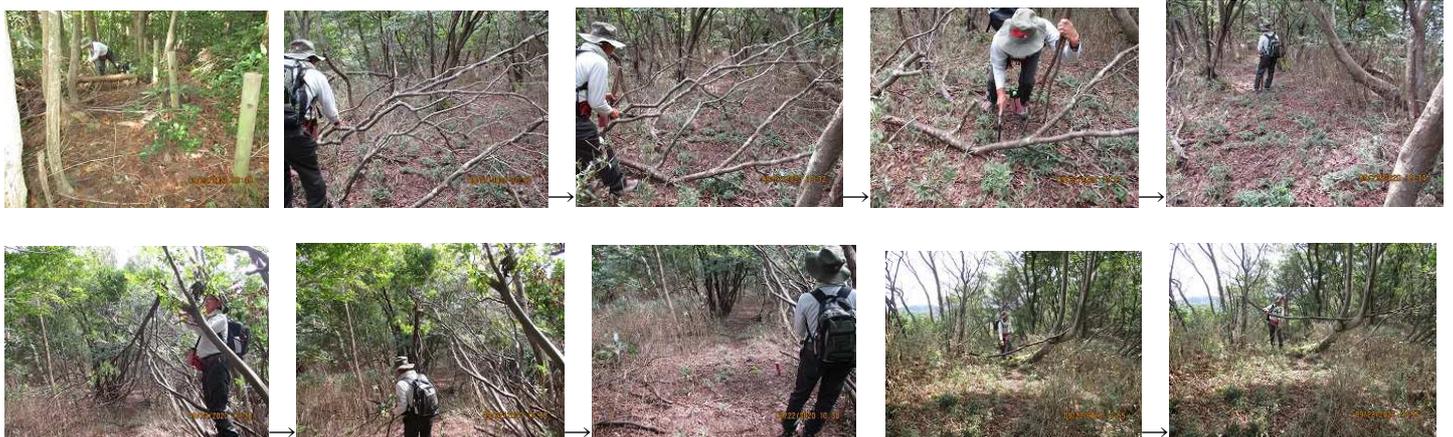
芭蕉翁と西村家

西村家は遠く村上源氏の出。この峠を開拓。ここ北陸街道の要所に問屋を営んだ旧家である。芭蕉とのゆかりが深い。

- 一、おくのほそ道素竜本を秘蔵（国重文）
- 一、芭蕉翁松風塚と名園 松風の落葉か水の音すゝし
- 一、蕉風に心酔した俳人 当家十世野鶴 十三世自得が出た
- 一、峠の要路 旧塩津街道の一部を残す

新道野越えを開いた西村孫兵衛の名を冠する茶屋、店内に芭蕉の「奥の細道」など10代目西村野鶴の遺品が展覧されている。

◆里山整備 倒木処理・道標の赤テープつけなどしました。





◆トレッキングコースの様子



登山口：地主さんの
許可を得て出発

(向かいの御蕎麦屋さん)

自然林がきれい

高低差もあまり無く

孫持山 三等三角点あり



急にコースを変更しましたが、無事山頂に到着。
家に帰り調べてみたら、御蕎麦屋さんの御家柄にびっくり。ご主人がとても気さくな方で良かったです。事前に調べていたらきっと緊張したことでしょう。